

準備編

<p>・事務手続き</p> <p>①Application for clinical electives 写真→顔写真 (jpeg) を張り付けました 名前→ローマ字/漢字 サイン→全て打ち込んで完成してからプリントアウトして、Signature のところにサインと accommodation のところにチェックして、スキャナ。</p> <p>②Letter for agreement and recommendation Signature→和佐先生のサイン School→Osaka University Medical School Name→Masafumi Wasa, MD, PhD Title→Professor, Medical Education Center Address→2-2 Yamadaoka, Suita, Osaka, 565-0871, Japan Fax→+81-6-6210-8225 SCHOOL SEAL→教務に渡して大学の印を押してもらいました。</p>
<p>・手続き 2</p> <p>①Confirmation of Clinical Electives 一か月前までに、科と、実習期間と、寮宿泊期間と、初日の日付を申告します。</p> <p>②Confirmation of Accommodation ただしこの宿泊期間は実際に行ってみれば非常に融通が利くみたいです。後述します。</p>
<p>・ Contact person 台湾への留学生には、現地の学生のボランティアである Contact person がつけてもらえる場合があります。担当の留学生の観光をサポートしてくれる人です。ただし、私はそんな話は一切出ませんでしたし、他の留学生に聞いてみても、つけてもらえる可能性はランダムのようにです…。事務手続きの際につけてもらえるか聞いてみてもいいかもしれません。</p>
<p>・実習の持ち物 服装は後述しますがロングコート型白衣を持参すれば大丈夫です。実習用靴は特に必要ありません。聴診器は使わなかったですが、念のため準備して行きました。携帯やタブレットをどこにでも持ち込めますので、教科書のデータを入れていくか、ネットを活用すれば紙の教科書は要らないです。皮膚科では、自己紹介のパワーポイントを作ることと、簡単なレポート作成を課題、と言われたのでPCを持っていけばよかったと思いました。PCは一応、図書館にありましたがローマ字か中国語でした。word や power point などは一応タブレットに入れることができるので、それを活用してもよいかと思います。</p>

・実習の予習

実習する科に関する英単語は勉強していきましょう。疾患名、症候は最低限必要かと思
います。それから、略語が結構わからなかったです。また、外来見学ではカルテを見な
がら情報を得ることが多いので、単語のスペルまで覚えておくとういことかと思
います。

台湾に着いたら

・両替

台湾の空港で替えるのが一番レートは良いみたいです。街中でも替えることができます。
寮費は現金払いなので、たくさん替える必要があります。

・SIM

空港のブースには三社ありますが中華電信が一番電波がよく、山の上でも繋がるというこ
となのでこれにしましたが、使った実感としてどれが良いということはないです。少
なくとも中華電信は、タブレットとの相性が悪かったのか、接続しななおさなくてはなら
ないことがちょくちょくありました。値段は三社ともあまり変わらず、中華電信は 30 日ネッ
ト使い放題+通話少して 1000NTD でした。SIM フリー端末を渡せば設定はお店の人がや
ってくれます。身分証明にパスポートを見せます。それか、3GB で通話は少しというプラ
ンもあります。普段は寮や学校で Wi-Fi を使うのでそれでも十分かとも思います。

・空港から台北まで

台北駅行きのリムジンバスがあります。バス会社はいくつかあるようですが、一番無難な
のは大手の國光客運で、45 分ほどで 120 元。英語や日本語はあまり通じませんがジェス
チャーなどでなんとかなります。

寮編

Taita-Jing-Fu Alumni Hall (=景福、チンフー)

800 元(=3000 円くらい)/day

・入寮

管理人兼掃除のおばちゃんが常駐しているので彼女に名前を言って名簿にサインすれば鍵
をくれます。彼女には英語は通じませんが、いつもにこにこ挨拶してくれる良い人です。

・支払い

現金払いしかできません。正直ちょっと高いです。でも、ロケーションは台北市駅近で病
院敷地内なので…。上記のおばちゃんではなく、責任者のおばちゃん(英語が通じます)に払
うので、平日の昼、その人がいるときを狙って払います。タイミングはいつでもオーケー。
ちなみに旅行に行ったりして 3,4 日部屋を開けるときは事前に言っておきチェックアウト
して荷物を地下室に置いておくことで寮費をうかせることができますので、実習終盤にな
って寮費が確定してから払うと良いかもしれません。

・寮の設備

ビジネスホテルのツインルームのような部屋で、二人部屋。ユニットバス、冷蔵庫、魔法
瓶、テレビがあります。廊下に電子レンジやお湯のサーバーもあります。ネットは有線と

Wi-Fiがあります。1日に一回ゴミ箱の掃除とタオルの交換があります。月に一回床の消毒があり、その間は部屋に入れません。洗濯は地下一階のコインランドリーにて、一回40元ほどで可能です。

生活

・公共交通

台北市内はMRTが便利。まずはeasy card(悠遊卡、台湾版ICOCA)をMRTの券売機で買しましょう。100NTD(デポジット)で買えます。公共交通機関はとても安いです。学生版easy cardを買えたらもっと安くなるのですが、台湾の学校の学生証をつかって申請しないと買えません(国際学生証でも買えません)。Easy cardがあれば路線バスや国鉄、ローカル線もタッチするだけで使えます。また、SIMを買ったひとならその現地電話番号を利用して、Easy cardの自転車利用登録をすることができます。登録すれば、街中のYou-bike(オレンジ色の自転車)が30分無料で使えるようになります。30分を超えると自動でEasy cardから落ちていくので合理的。またEasy cardはコンビニなどでも使えます。そのほかの交通機関は、困った時のタクシー、それほど高くないです。それから南部に行くときは新幹線も日本よりは安いです。

・食事

朝ごはんはサンドイッチなどの軽いものと豆乳の組み合わせが一般的です。昼ごはんは病院内にフードコートがありますし、外で食べることもできます。夜は夜市やレストランで食べます。基本的に物価が安いので、軽食なら30-50NTD、店なら100-200NTDで食べられます。小籠包などお高めのお店に入っても、400-500NTDで食べれるのが素晴らしいです。ガイドブックを持参して、現地の子にも聞きまわって、台湾グルメを制覇することをおすすめします。

実習

・初日

9時に、医学部3階の教務へ行きます。棟がいくつかあってややこしいので、事前に下調べしておくといいです。寮からは、まず旧棟へ入ってその地下通路から新棟へ行き、新棟の3階から医学部棟へ行くことができます。九時に事務の方に会えたら、写真二枚(一枚は書類用、一枚は名札用)を渡し、書類に名前や日付、学校名を書き、留学生名簿にサインします。その後、各科に案内されます。

・実習内容

初日や週の初めなどに、学生担当の先生と話して決めます。六年生(ポリクリ中)に混じって講義を受けたり、外来見学や手術見学をしたりします。七年生(インターン)と混じることもあります。皮膚科、小児科では毎日のだいたいのスケジュールが手渡されます。皮膚科は基本的に外来見学で、小児科は回診を一日に3回ほど見学していました。基本的には全て、「if interested」と言われ、現地の学生と違ってノルマのようなものはあまりありませんが、とりあえず声をかけられたものは全て参加していました。

・実習場所…外来見学は旧病棟で、病棟回診は新病院でした。小児科・産婦人科は別の病棟にあるのでそこで行うことになります。病棟は合計3棟あります。

・服装

現地の学生は長袖白衣ショートコート（白のブレザーのようなものです）を私服の上に羽織っています。これは名前の刺繍入りで、学生実習が始まる際にセレモニーで配布されるとかなんとか。留学生はそれを持っていないので、ふつうの長袖白衣ロングコートを羽織っていて大丈夫です。これは現地では一人前の医師のみが着ています。ケイシーのような実習服を着ている人はいません。

中に着る私服は、女子はなんでもいいらしいですが、男子はシャツ着用らしいです。ズボンは、ジーンズなどラフなものは避けたほうがいいらしいですが、現地の学生の中にはジーンズの人たくさんいるので、気にしなくてもいいかも。スカートでも大丈夫です。靴は汚らしいものでなければなんでもよさそうです。全体的にあまり厳密ではないです。